



第16回

桜まつり

初日は大盛況 2日目雨天中止



第16回 桜まつりの初日4月4日(土)は満開の桜の下天候に恵まれ、いままででも最高と思われる人出の中で演技することが出来ました。オープニングからフィナーレまで15の演技がありましたが、最初の「すこやか体操」からフィナーレ「稲荷山さくら音頭」までの間、一般来園者の参加できる演目がいくつもあり好評でした。また初参加のキッズダンスチーム“Merci”の舞台は、小学生女子を中心とするチームの澁刺とした演技で最高の集客を示し大好評で、



子供たちの演技への人気の高さを改めて示しました。前回から始めたクイズは参加者も多く好評でしたが、クイズの定着には問題作成や運営面でまだまだ工夫の余地のあることがわかりました。

また、観光協会のとりまとめによる模擬店は、桜まつり全体の賑やかさの演出の上で、大きな要素となっていました。



2日目は夜半から雨となり、朝方になっても止まず中止としました。せっかく長い期間の準備が無になってしまい誠に残念でした。雨中でしたが定刻には皆さん集まっていたいただき、短時間で撤収作業を終了することができました。毎年のことですが、参加団体の皆様、公園の関係者の方々、市長・市役所の方々、音響さん、舞台作成の工務店さん、その他大勢の皆様のご協力本当にありがとうございました。

実行委員長 中村 伶華

子どもに豊かな体験を

第24回 青少年文化体験フェスタ

7月4日(土) 狭山市立新狭山小学校にて実施

ネットゲームにあけくれる小中学生が多いと話題になっています。この青少年文化体験フェスタは、子ども達に手や身体を使う体験の機会を増やし、子ども達の健全育成に寄与するとともに、狭山市の文化の普及と向上に資することを目的としています。

子ども舞踊、和太鼓、民謡の唄と太鼓・三味線、お箏、松笠人形作り、日本舞踊のおけいこ、手織り機で布を織る、ジャズダンス、世界の言葉で遊ぼう、演劇、紙芝居、オカリナの演奏、生け花、中学生ボランティアに、今回は新しくカンフーアクションが加わり15講座が行われます。

毎回市内小学校で開催していますが、校長先生をはじめ先生方の協力、更にPTA連合会の協力が大きく、ありがたく思います。今回は新狭山小学校が会場校、多くの子供達の参加を期待しています。



会場となる狭山市立新狭山小学校

実行委員長 小川 豊子